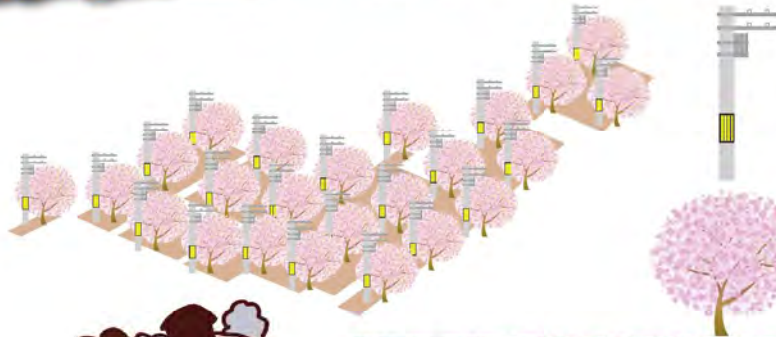


今、日本にある電柱の
総数は約3600万本!
桜の木の数も約3600万本!

国内にある
電柱の数は
桜の木の数と同じ
約3600万本!

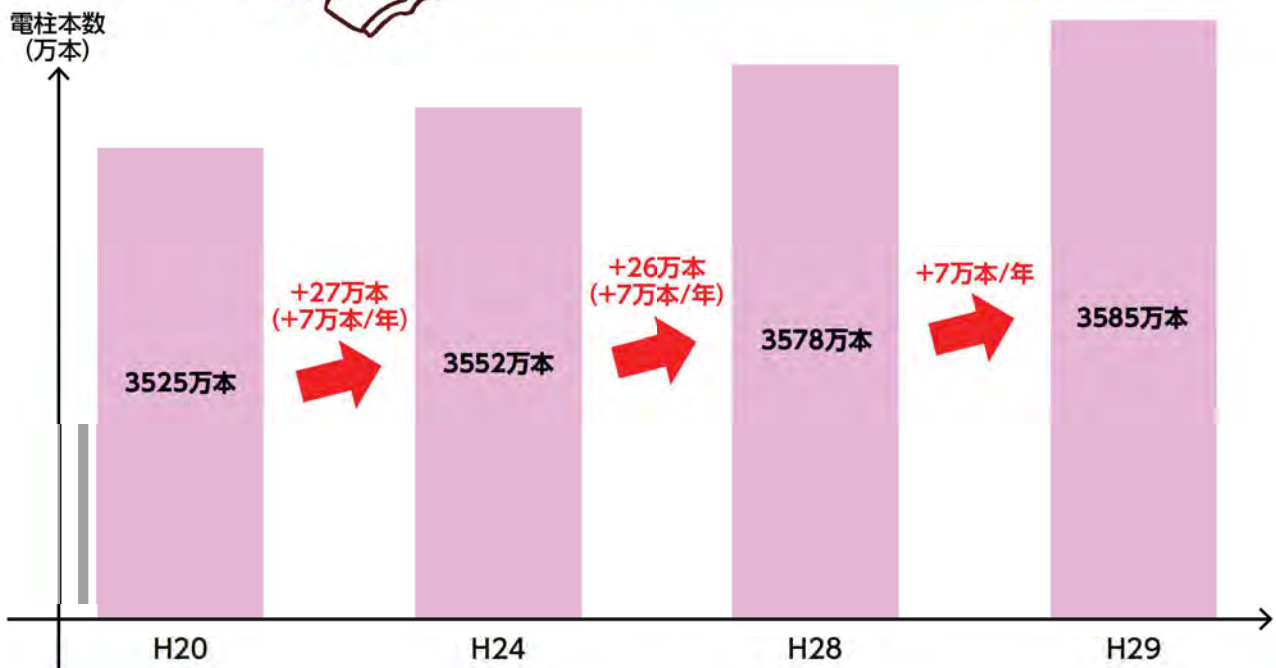


=約3600万本

=約3600万本



年間 約7万本のペースで電柱が増加しています



電柱の本数と種類

私たちが暮らす日本には、約3600万本もの電柱が立っています。

そもそも、電柱には、私たちの家に電気を送る「電力柱」と電話など通信を目的にした「電信柱」の2種類があります。電気も電話も私たちの暮らしに欠かせないライフラインの一つです。

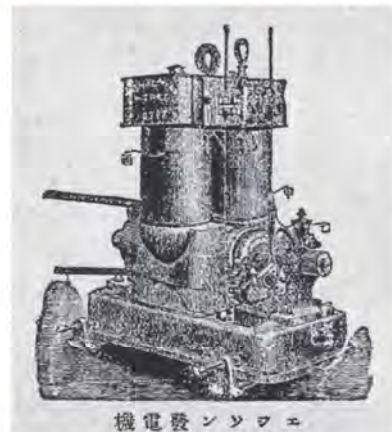
しかし、ライフラインが整備される中で、毎年約7万本もの電柱が増加し続けています。

そもそも 日本の電柱の歴史って？



■日本初の配電線による電灯供給

明治20年(1887年)11月29日、東京電燈会社(東京電力の前身)は、日本橋茅場町に設置した第2電燈局(小規模の火力発電所)から、配電線による電灯供給を行いました。これが配電線により電気が供給された日本で初めての事例であると言われています。



明治時代のエジソン式発電機
出典:vol. 6 日本初の配電線による電灯供給 第2電燈局
(社)日本電気協会 関東電気協会2009

■日本最古のコンクリート電柱は四角形!

明治中期から後期にかけて、電気・電信技術が確立されたことから、その整備の一環として国内の大都市・県庁所在地を中心に電柱の整備が始まったと言われています。

ちなみに、日本にある最古のコンクリート電柱は北海道函館市末広町にあり、現在も現役の電柱として活躍しています。

高さ約10メートルの電柱は四角い形をしているのが特徴です。

当時は木造電柱が主流でしたが、函館が大火の多い街であったことから耐火を目的にコンクリートで作られたと言われています。



出典:plaza.rakuten.co.jp

「一時的」が「当たり前」になってしまった日本の電柱



電柱がある街並みが当たり前になっていませんか？



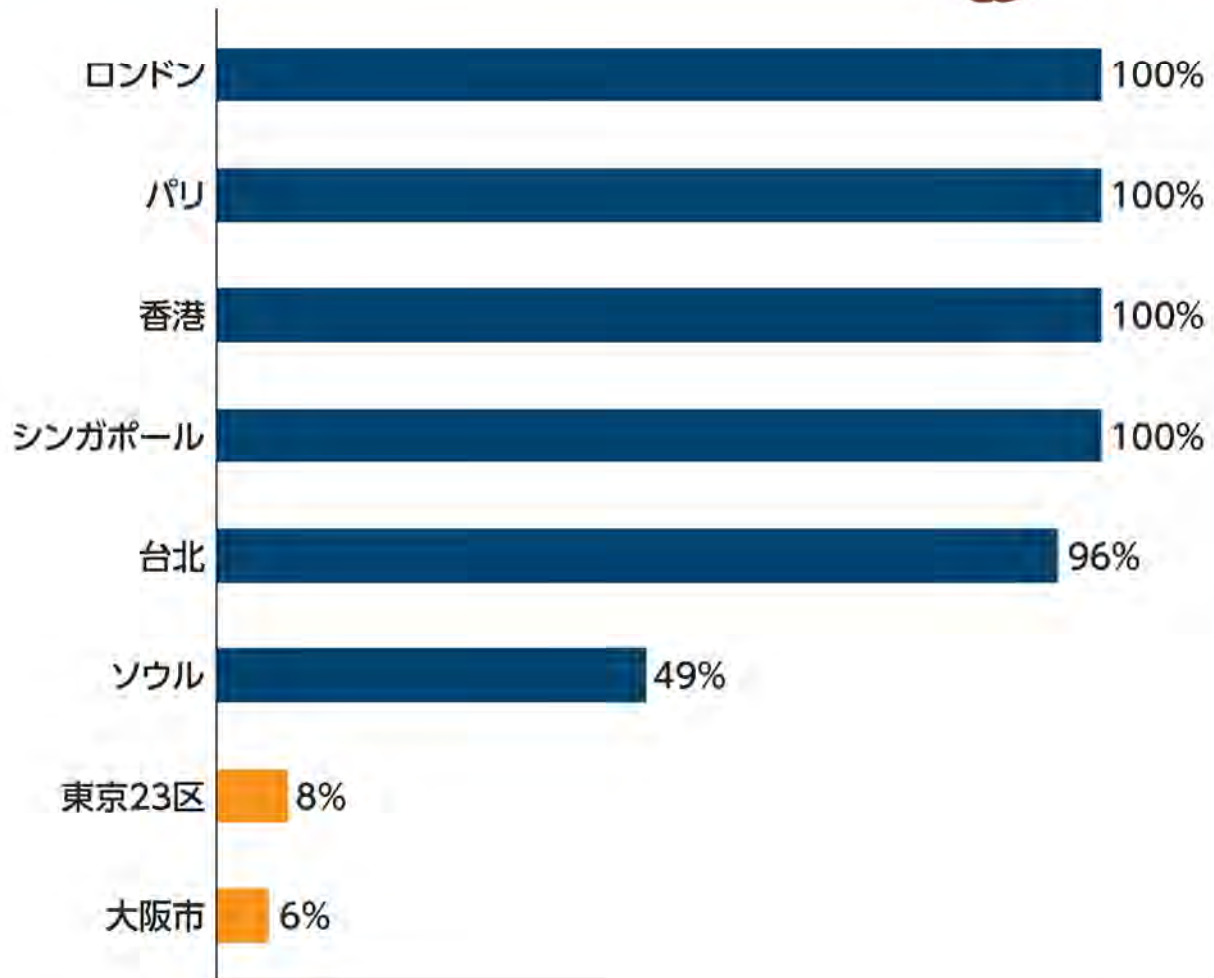
■戦後の復興期・高度経済成長期に増加した日本の電柱

日本は、大戦後の復興期、高度経済成長期を経て先進国の仲間入りを果たしました。一般家庭にテレビや洗濯機など様々な家電が普及し、また電話が各家庭に設置されるなど、私たちの生活は豊かになりました。

戦争のショックから速やかに復興するために「一時的に」という名目で、立てられた電柱は、高度経済成長期に電気や電話の需要がどんどん高まり、電柱を次々に立てて対応しなければなりませんでした。

そうして、本来は「一時的」のはずだった電柱が、「当たり前」のものになってしまったのです。

日本の無電柱化、世界の先進都市と比べてみると?



※1 ロンドン、パリは海外電力調査会調べによる2004年の状況(ケーブル延長ベース)

※2 香港は国際建設技術協会調べによる2004年の状況(ケーブル延長ベース)

※3 シンガポールは「POWER QUALITY INITIATIVES IN SINGAPORE, CIRE2001, Singapore, 2001」による2001年の状況(ケーブル延長ベース)

※4 台北は台北市道路管線情報センター資料による台北市区の2015年の状況(ケーブル延長ベース)

※5 ソウルは韓国電力統計2017による2017年の状況(ケーブル延長ベース)

※6 日本は国土交通省調べによる2017年度末の状況(道路延長ベース)

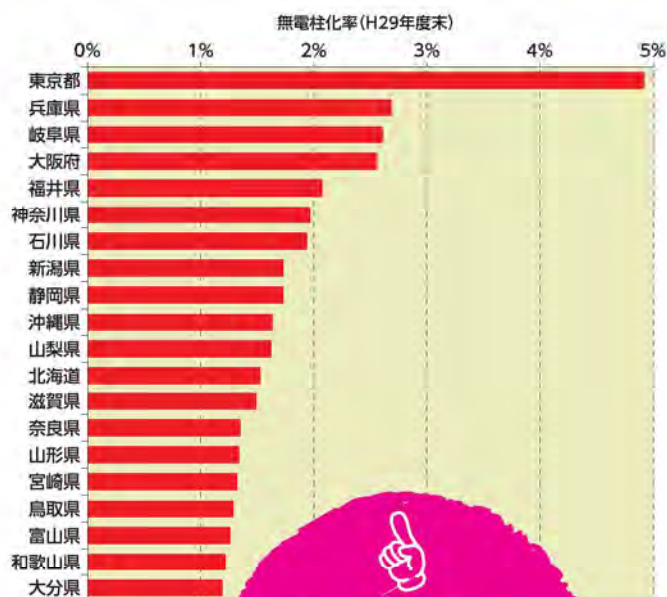
日本国内に沢山ある電柱。では世界の主要都市はどうでしょうか。

ロンドンやパリは既に無電柱化率100%、日本の近隣の地域である香港や台北、シンガポールも90%~100%の高い水準で無電柱化が進められています。

日本は、東京23区は8%、大阪市は6%と世界の主要都市と比べて、日本がいかに無電柱化が遅れているか分かります。

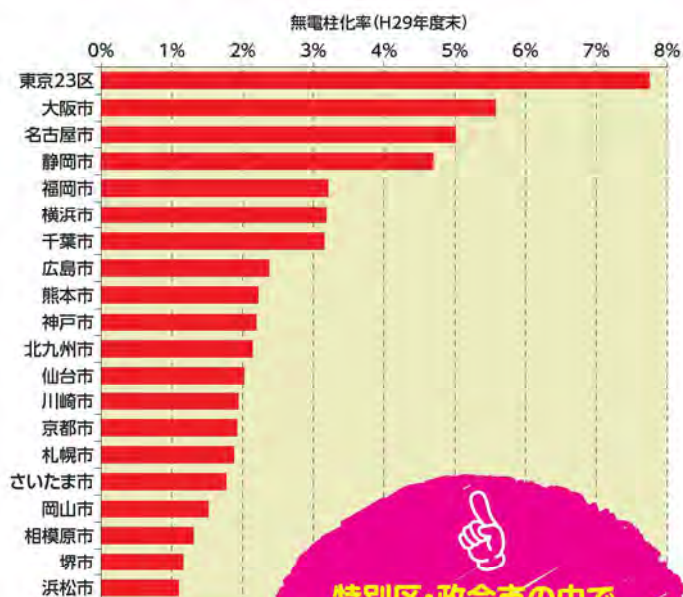
日本国内の無電柱化、 進んでいる都道府県は どこ？

無電柱化の整備状況(都道府県TOP20)



47都道府県の中で、
全道路のうち、
電柱がない道路の割合が
3%を超えているのは
東京都だけ！

無電柱化の整備状況(特別区、政令市TOP20)



特別区・政令市の中で、
全道路のうち、
電柱がない道路の割合が5%を
超えているのは
東京23区、大阪市、
名古屋市だけ！



※全道路(高速自動車国道及び高速道路会社管理道路を除く)のうち、電柱、電線類のない延長の割合(H29年度末)で各道路管理者より聞き取りをしたもの

世界水準からすると、まだまだ低い無電柱化率。

では都道府県別で調べてみましょう。国内で最も無電柱化が進んでいるのは東京都(約5%)、続いて、兵庫県、岐阜県、大阪府(約3%)が続きます。

また、政令市など都市別にみても、無電柱化率が5%を超えているのは、東京23区、大阪市及び名古屋市のみにとどまっています。

なぜ無電柱化を進める必要があるの？

災害を防止する無電柱化

みなさんが住む街の電柱が地中化されると、台風や地震などの災害時に、電柱が倒れたり、電線が垂れ下がったりするといった危険がなくなります。

また、倒れた電柱に道をふさがれることがないため、災害時の緊急車両の通行もスムーズになり被災者の生命を守ることもつながります。

東日本大震災

平成23年(2011年)3月11日に発生した東日本大震災では、地震と津波により約56,000本もの電柱(電力・通信合計)の倒壊などが原因で供給支障をおこしました。また、断線した電線が道路を塞いでしまい、様々な救助作業を阻害したことが報告されています。



電柱は倒壊のリスクから地震や台風など自然災害に弱いと言われています



平成30年台風第21号と令和元年台風第15号

平成30年(2018年)9月4日に日本に上陸した台風第21号。電柱が倒壊し、近畿地方を中心に全国で約240万戸が停電しました。この台風で、全国で少なくとも1,700本以上の電柱が倒壊したことが報告されています。



また令和元年(2019年)9月にも台風第15号が上陸し、関東地方を中心に約93万戸が停電、約2,000本の電柱が破損、倒壊したことが報告されています。

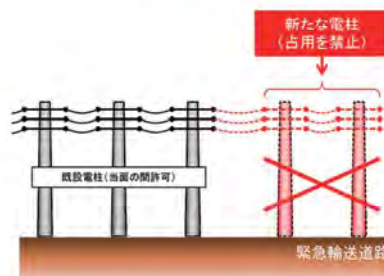


どうやって進めるの？ 無電柱化を進めるための 新たな取り組み



緊急輸送道路を対象に 新設電柱の禁止を進めています

緊急輸送道路において新設電柱の禁止を進めています。これにより車両の能率的な運行や災害が発生した場合における被害の拡大を防いでいます。



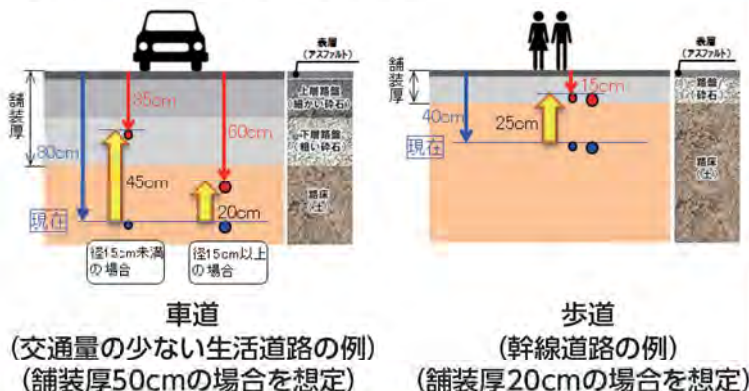
低コストな電柱埋設技術に取り組んでいます

無電柱化の課題の1つはコストであり、低コスト化による実証が進められています。手法として電線を地中深くに埋めるのではなく、浅い場所に埋めるなど新たな取り組みが始まっています。



埋設基準が緩和されました

生活道路の舗装厚さが50cmの場合、電線の頂部と路面との距離は、80cmから最大35cmまで浅くするなど電線等の埋設に関する設置基準が緩和されています。



まだまだある、 無電柱化を進める メリット!



「景観・観光」

景観の阻害要因となる電柱・電線をなくすことで美しい日本の景色を取り戻したいですね。

👉 せっかくの
富士山が…



静岡県富士宮市

👉 電線がなければ
綺麗なのにな…



東京都墨田区

👉 歴史的町並みにも
電柱が…



長野県上田市

「安全・快適」

無電柱化により歩道の有効幅員を広げることで、通行空間の安全性・快適性を確保することができますね。

👉 学童が車道に
はみ出して危険!



大阪府八尾市

👉 歩道の中央に
電柱があって
歩きにくそう!



大阪府大阪市

👉 歩行者と
車いすの方が
すれ違えない!



沖縄県沖縄市

電柱・電線がないことで、 守り・語り継がれる 日本の文化



街の最大イベント
「おりもの感謝祭
一宮七夕まつり」が
今年も開催!



愛知県一宮市
(平成29年完成)



電柱がない
歴史的町並みに
多くの観光客が集う

埼玉県川越市
(平成4年完成)

みんなで考えよう! 電柱のない街 電柱のない未来



戦後、経済成長を経て、
私たちの街に電柱があることが「当たり前」になってしまいました。

しかし、世界の主要都市で取り組まれている通り、
電柱があることは、決して「当たり前」ではありません。

2020年には、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。

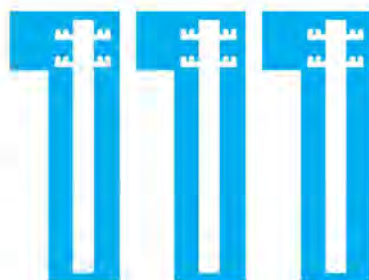
世界各国から多くの方が日本を訪れます。

その際は、是非、美しい日本の風景を世界の皆さんに観てもらいたいですね。

そのためには、私たち一人一人が、
「無電柱化」について関心を持ち、その推進・整備について
理解をすることが重要ではないでしょうか。

11月10日は
「無電柱化の日」

「1」を並ぶ電柱に見立て、
それを「0」とするという意味で
平成26年度に制定されました。



を「0」にしよう